

SHOW-CASE PROJECT Extra-1

SHOW-CASE PROJECT Extra-2

Motohiro Tomii:

Conditions of Contact

富井大裕 接点の都合

何かと何かがつながって何かになる。この流れ全体がかたちでありモノコトの姿だと思うが、そこで気になるのは「つながり」の根拠だ。何がつながるのか、何をつなげるのか、どこをつなげるのか、どのようにつながるのか、つなげたいのか、つなげざるを得ないのか、などなど。考えるだけで幾つもの関係が湧き、形は溢れかえる。と、ここまででは、つなげる私・つながるモノコトの都合である。接点の都合というのはあるのだろうか。接点私が私を動かし、モノコトを選び、あり方や関係を変える。接点に全てが転がされる世界。そんなことを制作から考えようとしても、結局はこちらの都合に寄つて（寄せて）しまう危うさもあるが、可能な限り接点に振り回されてみよう。それを造形と呼んでもいいんじゃないか。

2025.10.14 | 火 | — 12.19 | 金 |

11:00-18:00 入場無料

休館日 | 土日祝 (10月25日[土], 11月15日[土]は開館・10月27日[月], 11月17日[月]は休館)

慶應義塾大学アート・センター | 三田キャンパス南別館1階アート・スペース

料金別納郵便

慶應義塾大学アート・センターは富井大裕と3年間にわたる展示プロジェクトを始動します。

展示室という四角い箱、それはまたひとつの「展示ケース」かもしれない。SHOW-CASEは展示の場であり、ケースを見せる(展示のケース)と言うことでもある。作家はそこに何を仕掛け、空間はどう応えるのか。その「出来事」が3年連続するとき、何が見えてくるのか。

小さな展示室から発信する新しい挑戦を是非、ご覧ください。

関連イベント *予定は予告なく変更されることがあります。詳細はウェブサイトをご確認ください。

〔ワークショップ〕開催日 | 2025年10月25日〔土〕 14:00- 講師 | 富井大裕

〔トーク〕開催日 | 2025年11月15日〔土〕 14:00-

登壇者 | 富井大裕 × 林 卓行 (東京藝術大学芸術学科教授) × 梅津元 (批評家 / キュレーター)



KEIO
UNIVERSITY
ART
CENTER

主催 | 慶應義塾大学アート・センター
Organized by: Keio University Art Center

108-8345 東京都港区三田2-15-45
2-15-45 Mita, Minato-ku, Tokyo, 108-8345, Japan
Tel. 03-5427-1621 / Fax. 03-5427-1620
<http://www.art-c.keio.ac.jp> ac-tenji@adst.keio.ac.jp

